

箱根組ニュース

第369号 2024年 新年号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

巾着田焚火芋煮会に16名、日和田山ハイキングには13名参加、焼き芋も大成功！

2023年を締めくくる、恒例の焚火芋煮会を今年はまた高麗駅から近くの巾着田の河原で行いました。最近焚火の出来るところが少なくなっているの、会場は巾着田、飯能河原、五日市の河原辺りに限られています。しかし、焚火が出来るのはありがたい。

さて、12月17日、日曜日。西武池袋駅発7時54分の快速飯能行きに乗り込む。車内では久しぶりに顔を合わせた人たちの会話が弾んでいる。

飯能駅に8時49分着。向かいに停まっている8時56分発の各駅停車三峰口行きに乗り換える。このまま乗って行き、三峰口から北側からの雲取山へのアプローチも可能だ。

9時3分、高麗駅着。降り立ったのは、有倉（里芋）、神山（焼き豆腐）、川名夫妻（舞茸、シメジ）、宗像（つゆ）、星野（幸）、入江（こんにやく）、奥村（うどん）、星野（ごぼう）、及川（長ネギ）、布施（牛肉）、和田、佐藤（カレールー）、神吉（サツマイモ）、神吉さんのお孫さんの石川

「紗」、戸丸（薪、焼き芋用サツマイモ）の16名。ちなみに丸いカッコの中は分担で持参した芋煮の材料。

高麗駅前はとても広いのだが大勢の人たちがいて驚いた。雲一つない青空が広がっていた。

トイレ前で身支度をして16名が輪になって自己紹介。盛り上がりつつ拍手が起きたりして楽しかった。小学4年生の石川（紗）さんは御岳山のでんぷら以来の参加で平均年齢を下げた。焼け石に水とも言えるが、若いエネルギーを頂いてみんな元気になるようだ。

佐藤さんのリードで体操、ストレッチなどをする。

9時35分歩きだす。線路に沿って右側南方向に行くとすぐに左側に踏切がありこれを渡る。

と、ここで危険なハプニングが、先頭の後についていった人がつながらず警報機が鳴っているのに進んでしまった。渡り切れない人が踏切の上下線の線路と線路の間で困っていたが、結局、運転手



さんが、すぐ横のホームの上から「渡つてください」と声をかけてくれて、降りている遮断機をやつとのことです。電車は少し遅れたに違いない。反省。踏み切り手前で待っていた残りの人は遮断機が上がってから渡つて全員合流。

9時39分、台交差点を渡る。まっすぐ進んでゆくと、先ほどから正面左側に日和田山が見えている。山頂手前の展望の良い金刀比羅神社の鳥居が小さく見える。

9時41分、右側に瓦屋根の由緒ありそうな古い門が見える。「台の高札場」の跡地に復元したもののだが、江戸時代にお触書などを張り出したところだという。

ここを右に集落の中に入つてゆく。この昔ながらの民家の前の道がとてもいい雰囲気だ。右側に農家の方が軒先で野菜を売っている。柚子やキウイフルーツ。

河原で生で食べたがとても美味しかった。鮮度の良さが決め手だろう。

突き当りの大きな石碑のある所を左に道は曲がつてゆく。この辺りの土手のある畑の景色は田舎に帰つたようでもとてもいい雰囲気だ。まっすぐ正面には日和田山がよく見える。

田舎道から車道に出て鹿台橋信号を右に曲がる。

9時54分、高麗川にかかる赤い橋を渡る。高麗川は巾着田の形に添うように左に巻くように丸く流れてゆく川だ。右側にはこれから向かう河原の河川敷が見えている。信号手前の路地を右に入つてゆく。突きあたりを右に曲がつて川の左側に沿つてゆくとすぐに巾着田に到着。小川が流れていて、小魚も泳いでいる。蛍の餌にもなる巻貝の力ワニナも見えている。畑と田んぼが広がっている。10時5分、河原に到着。入り口にもトイレがあるが、風向きも考えて少し奥のト

収支	
繰越	20,845 円
支出	
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	150 円
現在高	20295 円

先の左側にはもう一軒あり、ラディッシュやダイコン、ブロッコリー、チンゲンサイ、たくあんなどみんなで買って売り切れるほどの勢いだ。真っ赤なラディッシュは

集合 1月21日(日) 小田急線新宿駅
7:30発 快速急行小田原行き
(前から3両目車内)

途中駅発

代々木上原 7:35 下北沢 7:37 登戸 7:47
新百合ヶ丘 7:53 町田 8:01 相模大野 8:04
海老名 8:04

伊勢原着 8:24 (バス乗り換え)
8:55発 直通大山ケーブル行
大山ケーブル駅着 9:22
交通費 新宿～伊勢原 片道597円
伊勢原～大山ケーブル 片道370円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

※申し込み締め切りは 1月19日(金)

○持ち物 軽アイゼン、お弁当、飲料水、カップ、非常食、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

アイゼン、軽アイゼン持参ください。(積雪があるかも)

伊勢原駅からバスで大山ケーブル駅まで、ケーブルを利用して、山頂へ。下りはヤビツ峠から蓑毛まで。蓑毛からバスで秦野駅へ

2024年の最初は大山参りから始めます。
1月21日(日)は、大山(1252m)です。
レギュラーコース 歩行3時間10分
(上り1時間20分、下り1時間50分)

イレ前の河原に陣地を作る。すでにくつかのグループが焚火を始めていて煙が立ち上っている。

焚火の準備の戸丸を除いて日和田山ハイキングに出かける。及川さんと和田さんは高麗神社に行くようだ。

焚火係は、まず、芋煮の大鍋の位置を決めて少し水を入れてバーナーに細火で火を入れる。少し離れた場所に焚火の位置を決めて焚火台を設置。火を起こし



て火力が安定したら、その上に濡れた新聞紙とアルミホイルに包んだ焼き芋を並べてその上に薪を載せてまた一燃やしする。10分から15分位で様子を見るとほぼ焼けている。

頂いたビールとテキーラ、ウイスキーをちびちび飲みながら、ラディッシュと川に生えているクレソンをつまみにやっているとのんびりと贅沢な気分になる。

12時頃、高麗神社組が戻ってくる。そのあと三々五々、日和田組が戻る。大勢の人で日和田山は混雑していたらしいが、絶景を堪能したようだ。

さあ、芋煮のはじまりだ。大鍋係が手際よく芋煮を仕上げる。絶品の芋煮が出来あがって河原は賑やかになる。焼き芋も好評だ。川名さんの熱燗は好評で何と2リットルのパックを飲み干したようだ。芋煮にクレソンを入れたりしてみんな楽しんだ。仕上げはうどんを入れてカレーうどんを楽しんだ。

きれいに片付けて、火の始末もする。土手の上で記念撮影。

2時55分、出発。まだまだ青空の巾着田とお別れして来た道に戻る。途中河原の横断を試みるも危険なため撤退。

またもや、農家の無人販売に引っ掛かり、誰かはタクアンを買い占めた。



高麗駅から乗車。飯能駅で急行に乗り換えて池袋着。ここで自由解散。

名残惜しい、川名夫妻、神山、佐藤、戸丸は西口の養老の滝に立ち寄り、川名さんの復活を祝う。ちよつとだけ飲んで行こうといったが、決してちよつとではなかった。

